

令和 6 年 度 事 業 報 告

1. 総会及び理事会等会議の開催

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
監 事 会	6. 4. 24	ハム・ソーセージ 会 館	監 事 3 名	・ 令和 5 年度事業報告(案)及び収支決算(案)について
理 事 会	同 上	同 上	理事 11 名 監 事 3 名	・ 令和 5 年度事業報告(案)及び収支決算(案)について ・ 第 2 1 回定時社員総会提出議案について(案) ・ 社員の加入について
理 事 会	6. 5. 22	広島県広島市 「ホテルグランヴィア広島」	理事 14 名 監 事 4 名	・ 総会の運営について ・ 委員会委員の委嘱について
第 2 1 回定時 社 員 総 会	同 上	同 上	83 名 (委任状による 出席 67 名を含む)	①令和 5 年度事業報告の件 ②令和 5 年度決算報告書承認の件 ③令和 6 年度事業計画報告の件 ④令和 6 年度収支予算報告の件 ⑤入社基準決定の件 ⑥令和 6 年度会費及び徴収方法決定の件 ⑦令和 6 年度加入金決定の件 ⑧令和 6 年度借入金最高限度決定の件 ⑨常勤理事報酬最高限度決定の件 ⑩理事及び監事の任期満了に伴う役員改選の件
役付役員互選 理 事 会	同 上	同 上	理事 14 名 監 事 4 名	・ 役付役員の互選について
理 事 会	6. 9. 25	ハム・ソーセージ 会 館	理事 11 名 監 事 4 名	・ 人事院勧告に基づく給与規程の改正について ・ 監事の辞任
理 事 会	7. 1. 29	東京都目黒区 「ホテル 雅叙園東京」	理事 15 名 監 事 3 名	・ 育児・介護休業等に関する規程の改正について
理 事 会	7. 3. 26	ハム・ソーセージ 会 館	理事 12 名 監 事 3 名	・ 令和 7 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について ・ 理事の退任及び辞任 ・ 厚生労働省登録検査機関における業務責任者の変更 ・ 顧問の委嘱及び報酬最高限度額

J A S 認 証 業 務 評 価 委 員 会	7.3.18	ハム・ソーセージ 会 館	委員 4名	・ 本研究所の審査、認証及び意思決定プロセスの公平性について ・ 公平性のリスク分析の結果に対する評価
登録検査機関検査 業務評価委員会	同 上	同 上	同 上	・ 厚生労働省登録検査機関に係る業務の信頼性確保について
ISO/IEC17025 認定試験所検査 業務評価委員会	同 上	同 上	同 上	・ ISO/IEC17025認定試験所の検査業務について

2. 事業に関する事項

(1) 役員等の選任・退任

- ① 令和6年5月22日、広島県広島市「ホテルグランヴィア広島」で開催の第21回定時社員総会で、任期満了に伴う役員改選の結果、次のとおり理事18名、監事5名が選任された。

理 事： 石 原 哲 雄（再任）猪 口 由 美（再任）大 金 弘 武（再任）
大 野 高 志（再任）小 原 健 児（再任）菊 地 令（再任）
木 藤 哲 大（再任）桑 崎 俊 昭（再任）小 林 博 行（再任）
瀧 澤 太 郎（再任）竹 内 裕 嗣（再任）竹 田 清（再任）
千 葉 尚 登（再任）根 岸 晴 夫（再任）姫 田 尚（再任）
福 島 保 訓（再任）堀 内 朗 久（再任）松 井 陽 樹（再任）
監 事： 内 田 達 也（再任）清 田 浩 徳（再任）佐 藤 秀 美（新任）
塩 島 勉（再任）竹 内 淳（再任）（※敬称略）

また、役付役員の互選の結果、次のとおり理事長1名、専務理事1名、代表監事1名が選任された。

理 事 長 ： 小 原 健 児（再任）
専 務 理 事 ： 猪 口 由 美（再任）
代 表 監 事 ： 清 田 浩 徳（再任）（※敬称略）

- ② 令和6年7月5日、役員の変更登記を完了したが、監事に選任された佐藤秀美氏（日本獣医生命科学大学特任教授）については食品企業の社外取締役を務めているため、厚生労働省から登録検査機関の中立性確保のための基準（役員に占める受検営業者の割合が1/2を超えない）に抵触すると指摘を受けた。これを受け、同氏から7月22日付で監事辞任届が提出され、8月23日、役員の変更登記を完了した。
- ③ 令和7年3月2日に、専務理事・猪口由美氏が逝去されたため、同日付けで退任となった。登録検査機関としての中立性確保のための基準を遵守するため堀内理事にご相談の上、3月6日付けで理事辞任届が提出され、4月10日、役員の変更登記が完了した。
- ④ 猪口由美氏の理事退任を受け、中島誠人氏の顧問委嘱につき、令和7年3月26日の理事会で承認された。

(2) J A S に関する事業

- ① （独法）農林水産消費安全技術センター(FAMIC)による J A S 法に基づく J A S 登録認証機関としての事業所調査及び製品検査施設調査（令和6年12月18日、19日）を受け、登録認証機関としての体制が維持、運用されていると判定された。

- ② 新たな J A S の創設を検討する「無塩せき食肉加工品JAS化検討会」((一社)日本農林規格協会主催)に委員として参加した。
- ③ 農林水産省から要請を受け、チルドハンバーグステーキ及びチルドミートボール J A S の担当団体を担うこととなった。
- ④ 一般 J A S (ベーコン類等)の検査荷口の延長を農林水産省に要望し、農林水産省告示改定により延長された。

(3) 食品衛生法に基づく製品検査等及び一般依頼検査に関する事業

- ① 厚生労働省関東信越厚生局による登録検査機関の定期監査(令和7年2月6日)を受け、登録検査機関としての体制が維持、運用されていると判定された。
- ② ペリージョンソンラボラトリーアクレディテーションインク(PJLA)によるISO17025の更新審査(令和6年11月6日、7日)を受け、認定の継続が確認された。
- ③ 検査の適切性を確認したい検査施設を対象に「精度管理のための技能評価試験」を2回実施するとともに、試験検査担当者を対象とした「検査技術実技研修会」を開催した。
- ④ 輸入食品検査に係る最近の物流事情やサンプリング経費の増加を受け、サンプリング交通費について湾岸習志野地域及び埼玉地域の料金区分を追加するとともに、料金を見直した。

(4) 食肉、食肉製品等の検査、研究に関する事業

- ① 「豚肉の賞味期限延長・おいしさ向上評価推進事業」(JRA事業・令和5～7年度)により、理化学分析、物理的性状分析、細菌検査、官能検査等を実施しつつ、包装方法の違いによる豚肉の賞味期限の延長幅の検討に取り組んだ。
- ② 「ソーセージの塩漬フレーバー増強へのヒポキサンチンの関与についての研究」((公財)伊藤記念財団助成)により、ヒポキサンチンがソーセージの塩漬フレーバーを増強するメカニズムの解明に取り組んだ。
- ③ 「ローストビーフ賞味期間延長支援事業」((公社)日本食肉協議会助成)により、輸出が期待されるローストビーフの賞味期限の延長に向けたデータ取得に取り組んだ。
- ④ 肉用牛の肥育コストの削減に資する早期出荷牛肉の品質への影響に関する科学的な調査に取り組んだ(国費事業・(一社)全国肉用牛振興基金協会から委託)。
- ⑤ 「国産食肉加工品国際競争力強化対策事業」(日本ハム・ソーセージ工業協同組合から委託)により、市販ローストビーフの遊離アミノ酸、ミオグロビン含量等の分析に取り組んだ。
- ⑥ 「日本防菌防黴学会第51回年次大会」(日本防菌防黴学会主催・9月17日及び18日)において、「外国産サラミより検出された乳酸菌の同定と菌種による風味への影響」をポスター発表した。

(5) 関係団体との連携等

- ① 「食肉製品の規格と表示に関する研修会」(令和6年9月26日～27日)を(一社)日本食肉加工協会及びハム・ソーセージ類公正取引協議会と協力して開催した。
- ② 「2025 食肉産業展」(令和7年3月11日～14日の4日間、東京ビッグサイト)に(一社)日本食肉加工協会、日本ハム・ソーセージ工業協同組合と共同出展し、J A S 制度、“おいしさ

評価”検査、栄養成分検査及び保存試験などの業務を紹介した。

- ③ 各国間の貿易に必要となる国際標準を検討・開発するための国際的な検討組織である ISO/TC34/SC6の国内審議団体（国内対策委員会）に委員として参画し、意見を提出した。
- ④ 「個別品目ごとの表示ルール見直し分科会」（消費者庁主催）において（一社）日本食肉加工協会とともに意見を述べた。
- ⑤ 関係団体からの依頼を受け、講習、実習、指導等を実施した。（（一社）日本食肉加工協会、（公社）日本食品衛生協会、（公財）日本食肉流通センター、首都圏食肉卸売業者協同組合、日本羊腸輸入組合）

3. 社員に関する事項（令和7年3月31日現在）

期 別	社 員 種 類					
	正 社 員	正社員甲	正社員乙	正社員丙	賛助社員	総 計
令和5年度末	80	2	0	0	2	84
今 期 入 社	2	0	0	0	0	2
今 期 退 社	4	0	0	0	0	4
令和6年度末	78	2	0	0	2	82

（注） 正社員：（一社）日本食肉加工協会及びその会員
正社員甲：食肉製品製造を事業とする者
正社員乙：食肉製品製造を事業の一部として経営する者
正社員丙：食肉加工を事業とする者
賛助社員：食肉加工あるいは食肉製品製造の業に関連する事業を行なう者

4. 事業の概要

（1）J A Sに関する業務

ア）令和6年度におけるJ A S格付状況

区 分	格 付 数 量	対前年度比
ベーコン類、ハム類、プレスハム及びソーセージ	129,690トン	2.0%減
熟成ハム類、熟成ソーセージ類及び熟成ベーコン類	23,516トン	4.1%増
ハンバーガーパティ	0トン	—
チルドハンバーグステーキ	1,460トン	1.4%減
チルドミートボール	3.6トン	14.3%減
大豆ミート食品類	151トン	21.1%減

イ）J A S認証工場数（令和7年3月31日現在）

農林物資 期 別	ベーコン類等	熟成 ハム類等	ハンバーガー パティ	チルドハンバーグ ステーキ	チルドミート ボール	大豆ミート 食品類	合 計
令和5年度末	81*	49*	1	4*	1*	2	138
認 証	0	0	0	0	0	0	0
辞 退	2	2	0	0	0	0	4
令和6年度末	79*	47*	1	4*	1*	2	134

*：外国製造業者1を含む。

ウ) J A S 認証工場は、令和 6 年度定期確認調査（一部の工場はリモート調査）においてすべて適正であった。また、当研究所が行う J A S 認証工場定期確認調査の現場にFAMICが立ち会う調査は、延べ2工場について実施され、不適合はなかった。

エ) J A S 証票を印刷できる登録印刷工場は、ベーコン類等97工場、熟成ハム類等71工場、ハンバーガーパティ、チルドハンバーグステーキ及びチルドミートボール23工場、大豆ミート食品類4工場となった。

オ) 品質管理担当者等講習会の開催

区 分	期 日	会 場	受講者数
品 質 管 理 担 当 者 講 習 会	令和6. 7. 25	オンライン講習会	25名
品質管理責任者等専門講習会	令和7. 2. 13～14	イベントスペースEBiS303	40名
格付検査担当者技能研修会	令和6. 6. 27	ハム・ソーセージ会館	10名

(2) 一般依頼検査等に関する業務

ア) 令和 6 年度に実施した一般依頼検査、輸入食品検査の件数は下記の通りであった。

区 分	一般依頼検査		輸入食品検査	合 計
	理化学検査	細菌学検査		
件 数	9, 787件	6, 770件	8, 678件	25, 235件

各検査項目の精確かつ効率的な検査方法の開発に努めるとともに、内部精度管理、内部点検を実施し信頼性確保に努めた。また、外部精度管理調査については、国内外の機関が行う調査に引続き参加し、検査精度の向上に努めた。

附 属 明 細 書

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。